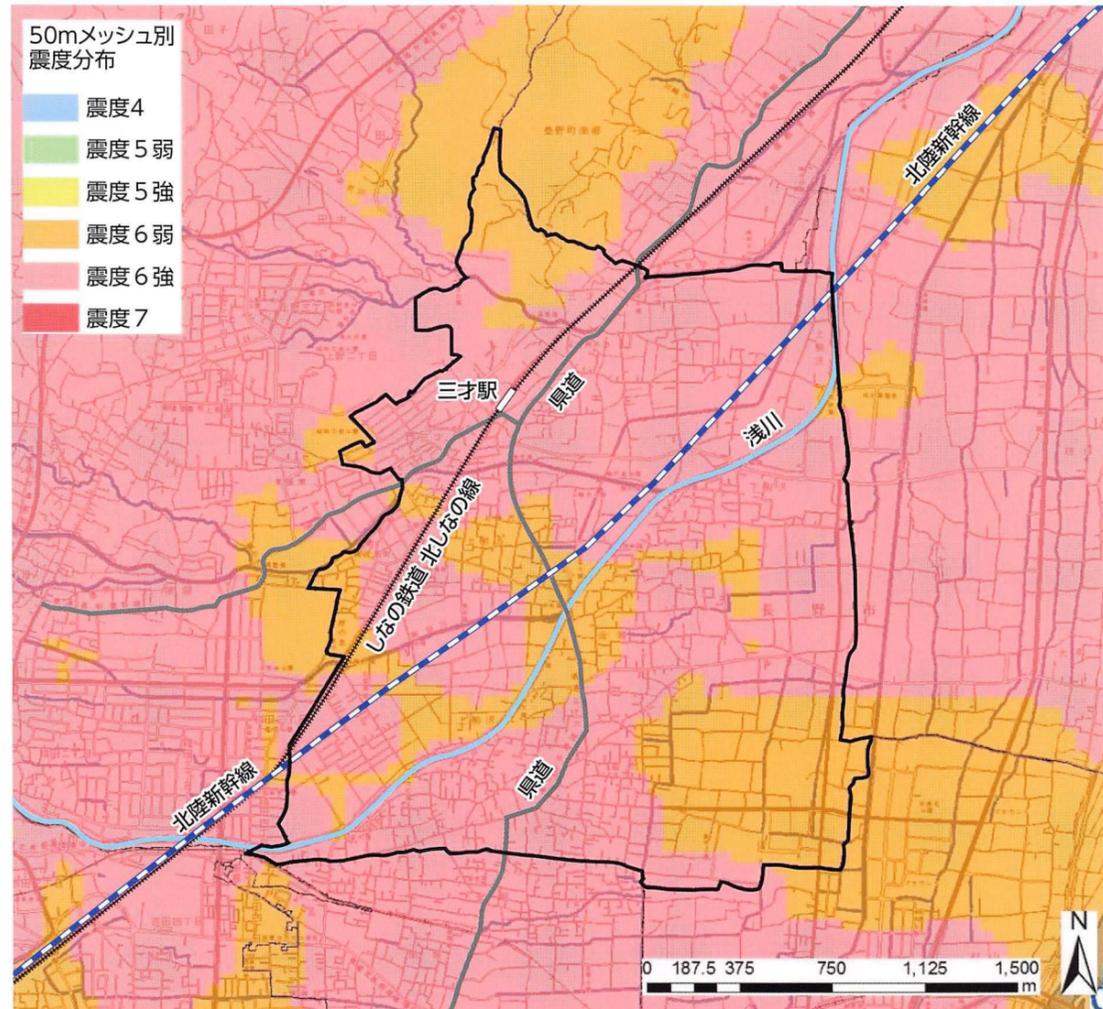


## 想定震度分布図

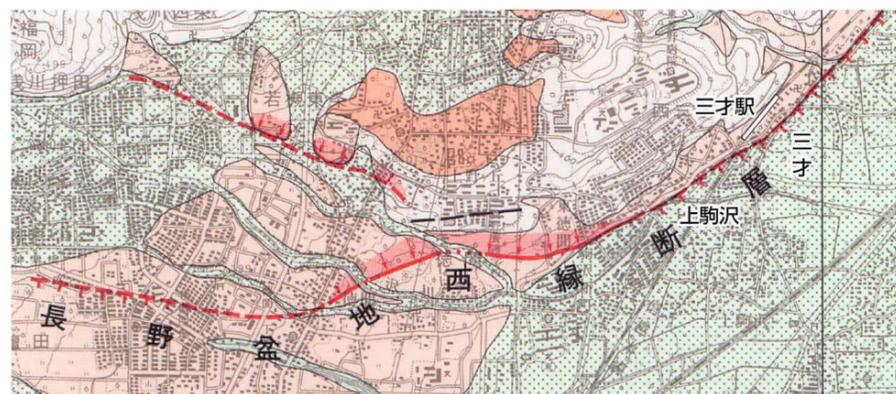
## 長野盆地西縁断層帯の地震

古里地区では、「震度6弱」～「震度6強」と想定されています。  
この断層帯では、1847年に善光寺地震が発生しています。



「長野市 地区別防災カルテ」より 一部修正・追加

## 長野盆地西縁断層帯



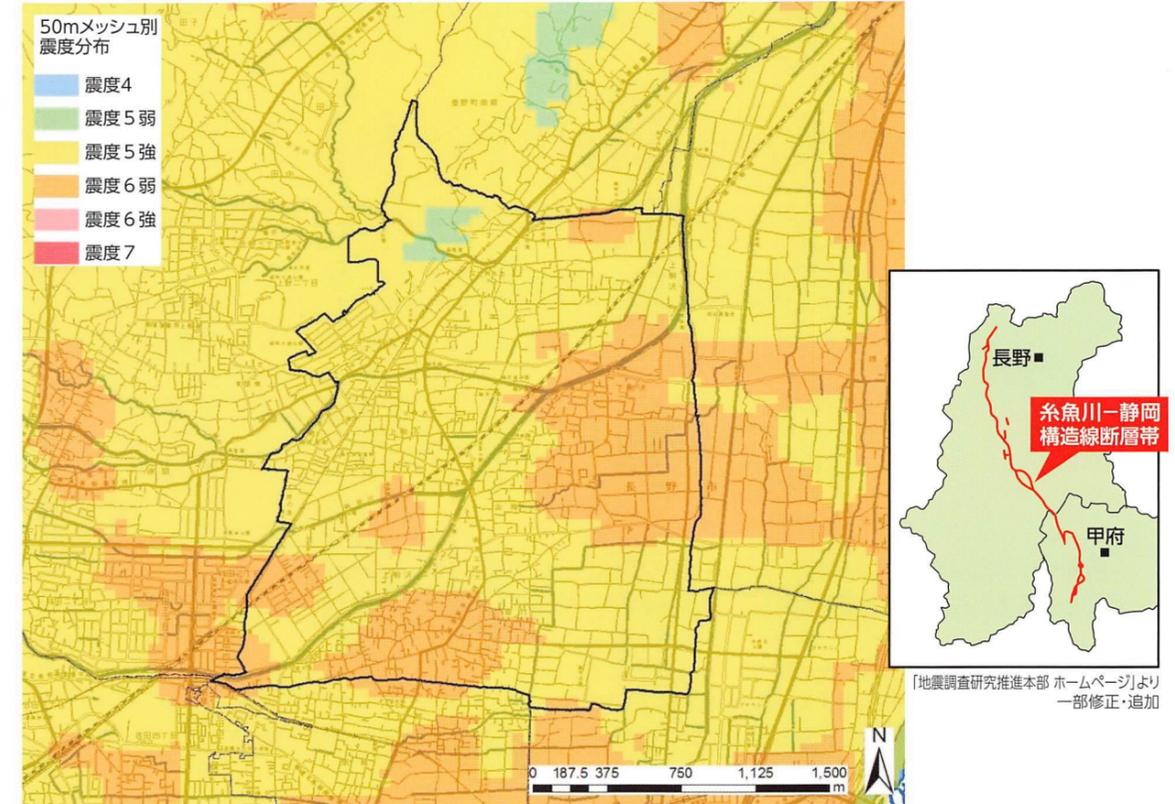
「国土地理院 活断層図 整備一覧」より 一部修正・追加

県北部に位置する「長野盆地西縁断層帯」は、野沢温泉村～中野市～長野市～千曲市にかけての約59kmと、千曲市～筑北村にかけての約15kmから構成される。長野市では、豊野～古里～県庁方面にかけて位置している。

## 想定震度分布図

## 糸魚川-静岡構造線断層帯の地震(全体)

古里地区では、「震度5弱」～「震度6弱」と想定されています。  
この断層帯では、2014年(平成26年)に長野県神城断層地震が発生しています。



「長野市 地区別防災カルテ」より 一部修正・追加

## 過去の地震災害

### 長野市の過去の主な地震災害(長野市が震源)

地震の名称 発生年月日(西暦) 発生時刻	震源 マグニチュード 震度	被害概要および被害状況
<b>善光寺地震</b> 弘化4年3月24日 (1847年5月8日) 22時頃	長野市直下 M=7.4 震度7(長野)	地震による崩壊、火災等により大災害となる。犀川右岸の岩倉山(虚空蔵山)が崩壊して犀川を堰止め、数十村が水没、4月13日に決壊し、大洪水となる。死者約8,600、潰れた家屋29,633、焼失家屋3,300
<b>長沼地震</b> 昭和16年7月15日 (1941年7月15日) 23時45分	長野市赤沼付近 M=6.2 震度6(長沼)	長沼、古里、若槻、浅川、豊野一帯で住家倒壊等の被害があり、特に長沼での被害が大きかった。また、千曲川沿いの地区では、泥が吹き出し、井戸が埋まったところがあり、また、割れ目から噴射水等が見られた。死者5、負傷者18、全壊家屋29、半壊家屋115、非住家全壊48、非住家半壊122
<b>松代群発地震</b> 昭和40年8月3日～ (1965年8月3日～)	長野市松代 M=5.4(最大) M=6.4に相当 震度5が9回 4が50回	地震は、松代皆神山付近に始まり順次、須坂、東村、篠ノ井、川中島、更埴、上山田に広がった。この地震は、振動の反復と累積により被害が増大したこと、長期にわたったことから、住民に与えた不安・間接的な被害は計り知れない。皆神山は、1m隆起した。負傷者15、全壊家屋10、半壊家屋4、一部損壊家屋8,620、地すべり64箇所

「長野市 長野市の過去の主な地震災害」より 一部修正・追加

### 長野市以外を震源とする最近の地震

**長野県神城断層地震**：2014年(平成26年)11月22日(土)22時8分、長野県北部の北安曇郡白馬村を震源として発生したマグニチュード(M)6.7の地震。長野市の震度は、震度6弱が戸隠と鬼無里、震度5強が箱清水、豊野町豊野、中条。古里地区では、住家21棟に一部破損の被害がでた。また、ブロック塀・灯籠の倒壊が多数発生。神城断層は、糸魚川-静岡構造線断層帯の北端部にある。

「長野市 神城断層地震による被害について」より 一部修正・追加